

保存版



ペットのための日頃の備え

ペットと一緒に避難する場合に持参する物
いつでも持ち出せるようになっていませんか？ 確認しましょう

- フードと水（5日～7日分）
- 療法食、薬（災害時には入手困難になります）
- 使い慣れているキャリー、ケージ
- 予備の首輪、リード（伸びないもの）
- 食器
- ガムテープ（ケージの補修など多用途に使用可能）
- 飼い主の連絡先、ペットに関する緊急連絡先、預かり先などの情報
- ペットの写真（携帯電話に画像を保存することも有効）
- ワクチン接種状況、既往症、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報
- トイレ用品（ペットシート、猫の場合はトイレ砂）
- 猫の場合には洗濯ネット（身柄の確保、搬送用等に使えます）

災害時にすぐに持ち出せるように
平時から準備しておくことが大切です



ペット用備蓄品（犬用）の例



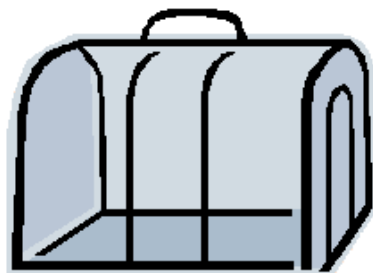
ペット用備蓄品（猫用）の例

参考：環境省「人とペットの災害対策ガイドライン」

災害に備える大切なしつけ

ケージ・キャリーに入ることに慣れさせてください

- 避難時は路上にガラス等が散乱していることがあるため、ペットはケージ・キャリーでの避難が安全です。
 - 避難拠点では、ペットはケージ・キャリーの中で生活することが多くなります。
 - 日頃から、好物のおやつをケージ・キャリーの中で与えて、ペットの「お気に入りの場所」にしておくことが大切です。
 - 避難生活はペットにとっても大きなストレスです。日頃から入り慣れているケージ・キャリーの中が一番安心できる場所です。**避難のときは、ペットの安心のため、普段使っているケージ・キャリーを持参してください。**
- ※ 中・大型犬用のケージは避難時に持ち出すのではなく、いったん避難した後、安全を確認した上で取りに戻る方法も考えられます。



身元表示 ～迷子にならないように～

過去の災害では、混乱の中でペットが逃げ出してしまう事例が多発しました。

ペットとはぐれても再会できるよう、日頃からペットには必ず身元表示を付けてください。

犬：鑑札・注射済票※1、マイクロチップ※2



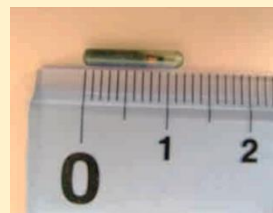
犬鑑札



注射済票

(年度ごとに色は変わります)

猫：迷子札、マイクロチップ※2



マイクロチップ

※1 犬は生涯1回の登録と、年に1回の狂犬病予防注射が、法律上の義務となっています。登録をすると犬鑑札が、狂犬病予防注射接種の届出をすると注射済票が交付されます。(令和4年6月以降は、マイクロチップを装着し、環境省のデータベースへ登録した場合は、マイクロチップが犬鑑札とみなされます。)

※2 マイクロチップは、首の後ろの皮下に専用注射器で挿入します。ペットの健康には影響ありません。固有番号が記録されており、専用リーダーで読み取ることで半永久的に個体識別ができます(ただし住所の変更等の届出は必要です)。詳しくはお近くの動物病院へ。